

東洋大学附属牛久中学校

平成三十年度

第一回一般入学試験 問題

検査問題Ⅰ（国語）

注 意

- 1 試験時間は五十分です。
- 2 問題は大問二問でできており、八ページあります。
- 3 この問題冊子に抜け落ちて^ぬいるページや印刷不鮮明^{ふせんめい}の箇所^{かしよ}、解答用紙の汚れ^{よご}などがあれば、試験監督者^{かんとうく}に申し出て^まください。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入^きしてください。
- 5 試験開始の合図^{あひづ}があつてから始めて^はください。

【2】次の問題に答えなさい。

問1 次の①～③の文の、主語と述語を答えなさい。主語が省略されている場合は「なし」と答えなさい。

例) ぼくは 図書館に 本を 探しに 行った。

主語：ぼくは 述語：行った

- ① 母が とても おいしい ケーキを 作った。
- ② コンビニで パンと お茶を 買おう。
- ③ 私は 花より だんごが 好きです。

問2 次の各文の傍線部は、どこにかかる言葉ですか。例にならって

答えなさい。

例) きれいな 赤い 花が 咲さいている。 答：花が

- ① 公園で ときどき 白い 白い 小さな ねこを 見る。
- ② 兄は 昨日 留学先の ロンドンに 旅立った。
- ③ 昨日から ここに ある 自転車は、 誰のですか。

問3 次の各文について、文の内容を変えないで、() の指示

に従ってそれぞれ文を書きかえなさい。

例) 父は 私たちを しかった。(「私たち」を主語にして)

答え：私たちは 父に しかられた。

- ① 木の実が 風で たくさん 落ちる。 (「風」を主語にして)
- ② 花子は 英語が できる。花子は 算数が できる。 (二文を一文にする)
- ③ ぼくは 知らないことはない。 (「ない」を使わない表現にする)

ア 何度も繰り返し口ずさんで考えてみることに

イ 言葉の表現ひとつひとつを調べることに

ウ 相手を見つけてひたすらしゃべること

エ 大きな声で暗唱の練習をすること

問12 ★印以降の文章から「いろいろな情報を得よう」と待ちかまえること」の意味に相当する言葉を、七字で書き抜きなさい。

問13 本文の内容をふまえて後の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 筆者は「まねる」ことをどのように捉えていますか。A・Bのどちらかの記号で答えなさい。

A 認めている B 認めていない

(2) あなたは「まねる」ということについてどのような考えを持っていますか。自分自身の体験をふまえて百六十字以上二百字以内で書きなさい。また、書くときには、次の《きまり》に従いなさい。

《きまり》

・ 氏名と題名は書きません。

・ 各段落の最初は二マス下げて書きます。

・ 「、」「や」「。」「もそれぞれ一文字に数えます。ただし、行の一番上

のマス目に「、」「や」「。」「がきてしまうときは、前の行の最後のマス目に文字と一緒に記入してかまいません。

・ 文章の途中で段落をかえたときの残りのマス目は、文字数として数えます。